

透析患者さんの不眠や
疲労感の原因は

かゆみ

によるものかもしれません



イライラしている、夜眠れない、理由は分からないけれど元気がない、そんな患者さんはいませんか？
その原因のひとつは“かゆみ”かもしれません。かゆみ治療を行うことで患者さんの睡眠の質、QOLを
改善できる可能性があります¹⁾。

〈監修〉医療法人 あかね会 大町土谷クリニック 院長 高橋 直子先生

掻きすぎて痛い



常にかゆい



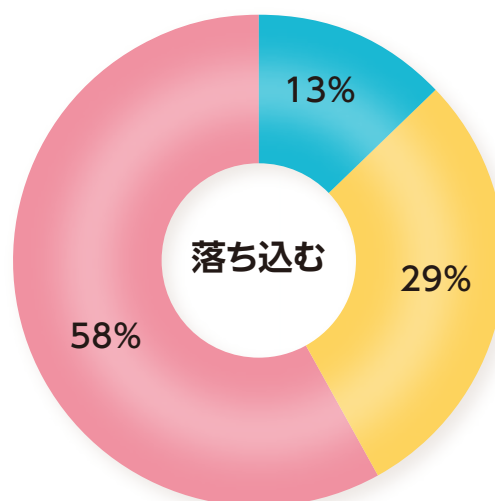
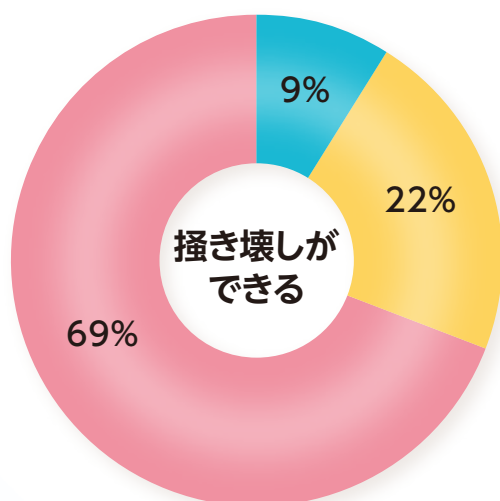
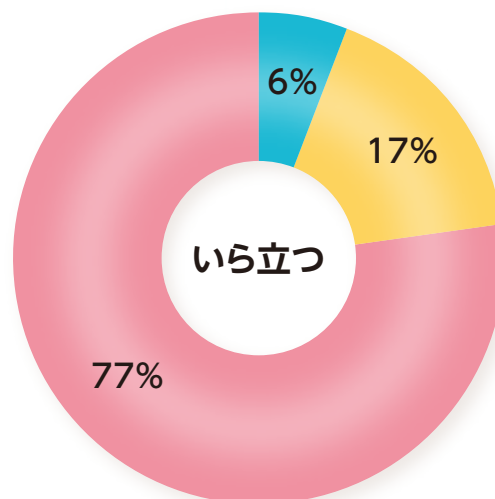
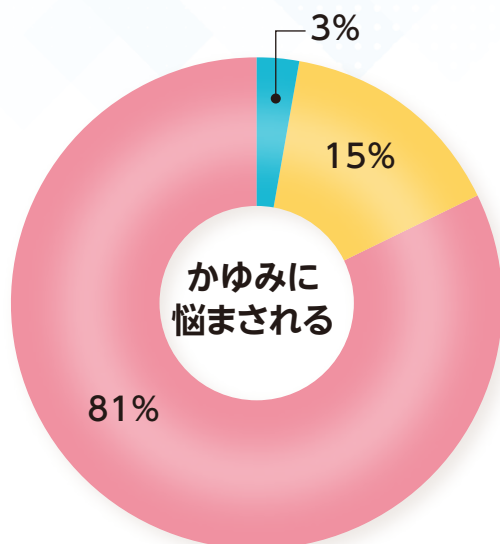
かゆくて眠れない



キッセイ薬品工業株式会社

かゆみが透析患者の日常生活に及ぼす影響 (海外データ)²⁾

中程度から極度のかゆみを有する透析患者では、**81%**がいつもかゆみに悩まされていると回答し、**77%**がいつもいら立ちを感じていると回答しました。掻き壊しなどの皮膚病変のみならず、日常生活にも影響を及ぼしている可能性があります。



0 (ない) 1~3 (時々ある) 4~6 (いつもある) (n=1,023)

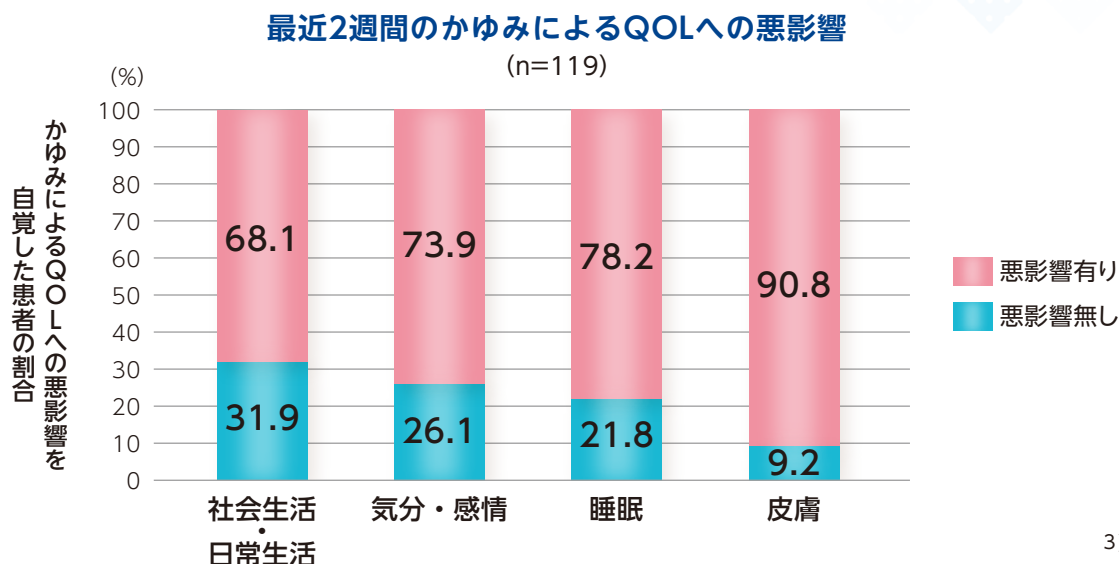
2)より作成

- 【目的】** Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study (DOPPS) 試験より、透析そう痒症に対する意識や治療について国際的に調べ、患者がどの程度かゆみによる弊害を抱えているのかを明らかにする。
- 【対象】** DOPPS 試験の Phase 5 に登録された、18 歳以上の血液透析患者 8,621 名のうち、2013 年に DOPPS 試験に参加していた 17 개국で かゆみを有しており、質問書に回答した 1,023 名。
- 【方法】** 対象患者に対して健康状態、治療状態、QOL、および症状に対する質問書を送り、「過去 1 週間なかゆみにどれくらい悩まされましたか?」の質問に対して 0 から 6 のスケールで返答を得て解析した。
- 【解析計画】** 対象患者は多重ロジスティック回帰分析を用いて解析し、年齢、性別、透析歴、冠動脈疾患およびがんや心血管疾患などを含めた 13 の疾患の併発有無、人種によって調整した。データ集計および解析は、SAS ソフトウェア version 9.4 を用いた。
- 【結果を解釈する上で重要な限界】** 回答を得られた患者の割合は 73 % であった。透析そう痒症の有病率は調査の特性上、報告バイアスがあった可能性がある。また、患者背景と透析そう痒症の間の横断的な関連性は、因果関係を示唆するものではなく、また透析そう痒症の発現における特性の経時的な影響について、研究を実施していない。

▼日本の透析患者に対するアンケート調査

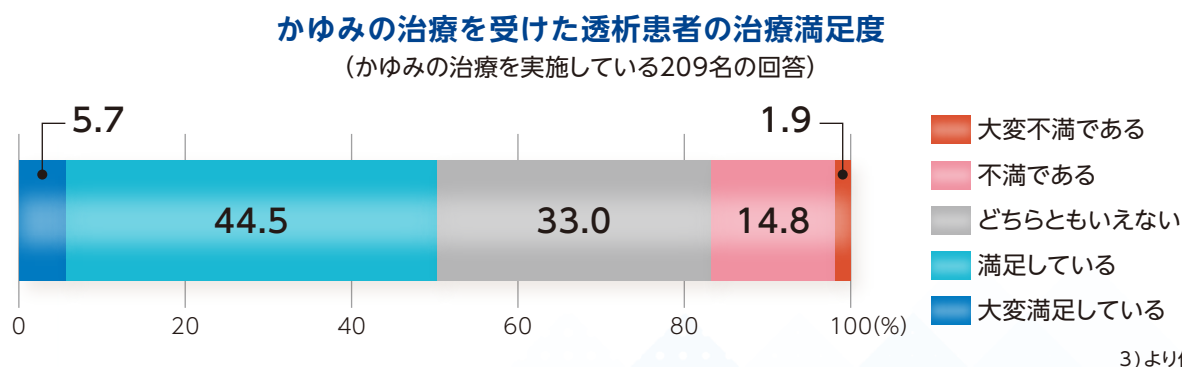
透析患者の抱えるかゆみがQOLに及ぼす影響³⁾

透析患者485名を対象としたアンケート調査では、かゆみを有すると回答した患者は**77.9%** (378名)であり、中等度以上のかゆみを有すると回答した患者は**24.5%** (119名)でした。また、中等度以上のかゆみを有する患者では、かゆみによるQOLへの悪影響(社会生活・日常生活、気分・感情、睡眠、皮膚)を自覚していました。



かゆみの治療を受けている透析患者の治療満足度³⁾

かゆみの治療を受けている透析患者 (209/378名)のうち、「大変満足している」および「満足している」と回答した患者は**50.2%** (105名)であり、**1.9%** (4名)が「大変不満である」、**14.8%** (31名)が「不満である」、**33.0%** (69名)が「どちらともいえない」と回答しました。



【目的】 血液透析患者のかゆみの有無や程度、QOLに与える影響などについて実態を調査する。

【対象】 血液透析療法(腹膜透析または腹膜透析との併用を除く)を受けている18歳以上の患者485名。

【方法】 2022年11月下旬から12月までの期間中、本調査に同意した対象患者に対しウェブサイト上でアンケートを実施した。かゆみ経験の有無は、透析治療を開始してからのかゆみの経験を調査した。かゆみの程度は、白取の重症度基準を用い、最近2週間のかゆみを「症状無し」から「激烈なかゆみ」までの5段階とし、0から4に数値化してスコアとした。かゆみによるQOLへの悪影響は、最近2週間の「社会生活・日常生活」、「気分・感情」、「睡眠」および「皮膚」の4領域への悪影響の有無を調査した。

【解析計画】 アンケートの回答は設問項目ごとに集計し、頻度と割合を求めた。設問によっては、複数の選択肢をカテゴリー化して集計した。アンケート項目間の比較は、カテゴリー変数については χ^2 検定またはFisherの正確検定を用い、順位尺度の変数についてはMann-WhitneyのU検定を用いた。有意水準は両側5%未満とし、検定の多重性については考慮しなかった。

【結果を解釈する上で重要な限界】 本調査はインターネットを介した調査であり、対面調査と比べ、質問者への気遣いのない回答が得られる反面、設問の意図を正確に理解していない可能性がある。また、血液透析患者全体よりも若い患者が多く、高齢患者の回答が反映されていない可能性がある。対象患者は、健康関連情報ウェブサイトの会員および患者団体の会員であり、健康意識が高く、認知度や関心度が高く示された可能性がある。アンケート実施時期(11月末～12月)が冬季であったため、乾燥によりかゆみが増悪した状態で回答していた可能性があり、有病割合やかゆみの程度、悪影響の感じ方が高く示された可能性がある。

【利益相反】 本調査はキッセイ薬品工業株式会社の資金により行われた。著者にキッセイ薬品工業株式会社より、講演料及びアドバイザー料を受領している者が含まれる。

ご自身の施設の状況を確認してみませんか？

中等度以上のかゆみを有している透析患者さんは
どれくらいいらっしゃいますか？

かゆみに対するNRS (numerical rating scale) スコア⁴⁾で
評価してみてください。



かゆみ無し (NRS スコア:0)

名

軽度 (NRS スコア:1～3)⁵⁾

名

中等度以上 (NRS スコア:4～10)⁵⁾

名

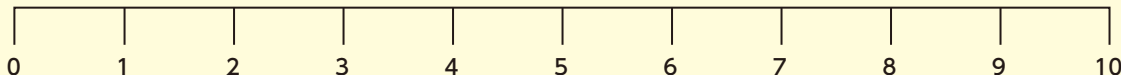
かゆみに対するNRSスコアの測り方

NRS スコアでは、患者自身がかゆみの状態を、「かゆみ無し:0」～「想像されうる最悪のかゆみ:10」
の11段階で評価します。

疼痛領域で広く使用されている尺度を基に作成された評価方法です。

かゆみ無し

想像されうる
最悪のかゆみ



4)より作成

Doctor's Comment

透析患者の皮膚そう痒症は睡眠の質の低下やうつ病のリスクを上昇させるなど、QOLを低下させるだけでなく、生命予後も不良にする重大な合併症です²⁾。今回われわれが実施したインターネットを介したアンケート調査においても、中等度以上のかゆみを有する患者の70%以上が、かゆみによる気分・感情、睡眠への悪影響を感じていることが分かりました³⁾。しかしその一方で、45%の患者はかゆみがあるにもかかわらず未治療であり、さらには治療を受けていても治療に満足していない患者が、約半数いることが確認されており³⁾、医療従事者が患者のかゆみの状態を的確に把握できていない可能性があります。

かゆみの緩和は睡眠障害など他の症状も改善させ、QOLを向上させる可能性が報告されています¹⁾。この機会に自施設の患者さんのかゆみの状態を再確認し、適切に治療介入していきましょう。

医療法人 あかね会 大町土谷クリニック 院長 高橋 直子 先生

1) Ahdoot RS, et al. Curr Opin Nephrol Hypertens 2022; 31(1): 63-71

2) Rayner HC, et al. Clin J Am Soc Nephrol. 2017; 12(12): 2000-2007

3) 高橋直子 ら. 日本透析医学会誌. 2024; 57(3): 111-122

(本調査はキッセイ薬品工業株式会社の資金により行われた。著者にキッセイ薬品工業株式会社より、講演料及びアドバイザー料を受領している者が含まれる。)

4) Phan NQ, et al. Acta Derm Venereol. 2012; 92(5): 502-507

5) Reich A, et al. Acta Derm Venereol. 2017; 97(2): 759-760



キッセイ薬品工業株式会社

松本市芳野19番48号